

1 学校教育目標

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断できる、心豊かな生徒の育成

2 今年度の学校重点目標

- 主体的・対話的で深い学びの充実
- 自尊感情を高める指導と特別な支援を要する生徒への支援充実
- 不登校対策の充実

4 総合的な学校関係者評価

- 多くの生徒が意欲的に学習に取り組むようすが見られる。
- 脳科学理論に基づく前頭前野を育む教育を実践している。
- 生徒理解に努め、個に応じた指導を実践している。
- 市サポートセンターと連携し、不登校対応に取り組んでいる。
- 学校ホームページを随時更新し、情報提供を行っている。
- 生徒の家庭学習とスマホ利用への対応が不可欠である。

3 学校自己評価結果（A優れている・B良い・Cおおむね良好・D要改善）

分野	評価項目	達成状況	成果・改善策
① 特色ある学校運営	脳科学を取り入れた授業の実践 グループを活用した学習	A	音読を習慣化し前頭前野の活性化に取り組んだ。 グループを活用した主体的・対話的な授業を実践した。
②確かな学力の育成 (おの検定)	生徒を主体とする授業づくり 個に応じた学びの充実	A	生徒主体の授業や協働的な学びを推進した。 生徒のつまずきに気付き、個に応じた学びを推進した。
③小中一貫教育	小中の連携したキャリア教育の推進 9カ年の系統的な学びの確立	B	児童生徒に将来への目標を抱かせる指導に取り組んだ。 9カ年を見通したカリキュラムにより計画的に取り組んだ。
④人権教育・道徳教育	自他を大切にする心の育成 教員による道徳科での指導力向上	A	道徳科や人権旬間、学校行事において生徒の心を育んだ。 外部講師を招聘し、全教職員による研修を実践した。
⑤安全・生徒・進路指導	健康教育と危機管理能力の育成 心の通い合った生活指導の推進 個に応じた進路指導の充実	A	学級活動を通じ管理能力や有事における判断力を育成した。 生徒個々の把握に努め、個に応じた生活指導に取り組んだ。 生徒への情報提供により、個に応じた進路選択を実現した。
⑥人材育成・組織力向上	報・連・相の徹底と組織対応 教職員の資質と専門性の向上	A	組織力は向上とともににより迅速な対応が求められる。 校内研修により教職員の判断力や対応力の向上を図った。
⑦地域との連携・協働	学校からの情報提供の推進 地域貢献と地域連携	B	タイムリーに情報を提供する必要がある。 学校から地域に働きかける積極性が求められる。
⑧家庭との連携	家庭学習の習慣化 家庭との連携と信頼関係の構築	A	定期テストごとに実践表を利用し家庭学習の充実を図った。 家庭と連携し、生徒を取り巻く環境づくりに取り組んだ。